

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度第3回まち・ひと・しごと創生懇談会
開催日時	令和2年2月6日(木) <del>午前</del> 午後1時30分から <del>午前</del> 午後3時30分まで
開催場所	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 2階多目的ホール
出席者	今井副市長 (委員) 荒井 克巳 委員、戸谷 正夫 委員、明堂 純子 委員、 田邊 晶子 委員、間庭 英雄 委員、福島 賢俊 委員、 谷田 裕之 委員、江原 貞治 委員、金井 幹雄 委員、 稲継 裕昭 委員、吉田 永子 委員、 森久保 晶彦 委員、原田 和臣 委員、 戸谷 清一 委員 (事務局) 山下部企画財政部長、中山総務部長、 反町市民生活部長、原福祉部長、岡野保健部長、 木村経済環境部長、浜谷都市整備部長、 高橋教育委員会事務局長、大屋議会事務局長、 福島上下水道部長 企画課：前川課長、齋藤課長補佐、千田主査、 渡邊主事
欠席者	(委員) 田中 輝好 委員、清水 義雄 委員、小林 由美 委員、 坂本 雄平 委員、富沢 峰雄 委員、高橋 博志 委員、 茂木 通信 委員、安部 逸郎 委員、岡田 正則 委員、 宮下 哲治 委員
議題 (次第)	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. あいさつ 4. 議事 (1) パブリックコメントの結果について (2) 国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について 5. 閉会

様 式

<p>配 付 資 料</p>	<p>令和元年度第3回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会 次第            資料1 次期本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する意見と市の考え方            資料2 本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）            資料3 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（概要）            資料4 令和元年度第2回まち・ひと・しごと創生懇談会での意見等について</p>
<p>その他特記事項</p>	
<p>主 管 課</p>	<p>企画財政部企画課</p>

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
1. 開会	
事務局	ただいまより、令和元年度第3回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会を開催させていただきます。
2. 委嘱状交付	
副市長	(新たに委員となった委員へ委嘱状交付)
3. あいさつ	
副市長	<p>本日はお忙しい中、第3回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会にご出席頂きまして、ありがとうございます。本来であれば市長がごあいさつ申し上げるところでございますが、所用がございまして、代わりにごあいさつさせていただきます。</p> <p>今回の創生懇談会は、第3回ということで、パブリックコメントでの意見や、国の第2期総合戦略の内容を踏まえての会議となります。皆様方からは、忌憚ないご意見を頂戴できればと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>余談でございますが、この煉瓦倉庫1階に「陸船車」というものが展示してあります。これは、本日ご出席頂いております本庄まちNETさんが製作されたものを、現在、展示にご協力頂いております。本庄市は7月9日にオリンピックの聖火リレーがございまして、この聖火リレーの中で、この陸船車が一役かってくれる予定になっております。また、この陸船車ができた都市ということで、聖火リレーの中では自転車の主になって聖火リレーが行われるという予定でございますので、是非お時間があれば、お帰りの際に展示してございます陸船車をご覧になって頂ければと思います。</p> <p>本日もどうぞよろしくお願い致します。</p>
稲継座長	<p>前回に引き続き、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>議事に入る前に、前回会議での発言について訂正があるとのことです。</p>
委員	<p>前回、英語の特区として、小・中学校から英語が話せるようにしたらどうかという意見を申し上げました。実は、年末に海外旅行に行ってきたして、急遽、先ほど座長に申し上げたのですが、中学校を除いて、小学校で英語が話せるようにということで、前回の提言内容を訂正ということでお願い致します。</p>
4. 議事 (1)	パブリックコメントの結果について
(2)	国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について
事務局	資料1「次期本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対

	<p>する意見と市の考え方」、資料2「本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」、資料3「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）及び第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（概要）」に基づき一括で説明</p>
座長	<p>前回11月6日に第2回懇談会があったあとにパブリックコメントを実施し、国の新しい第2期総合戦略が出たということで、それを盛り込む形での修正等をこの案に加えて頂いたということだと思います。また、11月6日に皆様から頂いたご意見と、その対応については、資料4に記載して頂いています。</p> <p>事務局にお尋ねしたいのですが、今日の懇談会の議論を踏まえて、いつ頃、この総合戦略を公表できるのか説明をお願いします。</p>
事務局	<p>このあと、市で創生本部会議を開きまして、最終的には4月に公表させて頂く予定で作業を進めております。</p>
座長	<p>それでは、ただいまの次期総合戦略案に対するパブリックコメントを実施した結果に対する市の考え方、国の第2期総合戦略がこの案に反映されたことにつきまして、全体を通して皆様からご意見・ご質問等ございましたらお願いします。</p>
委員	<p>この1市3町のエリアは非常に恵まれた地域だと思います。鉄道駅も本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅とあり、高速道路もあり、非常に交通の便にも恵まれています。そして、高校も県立3校・私立3校で計6校あります。こうした地域の資産をどうやったら活かせるかということを考えていく必要があると思います。</p> <p>ケーブルテレビは、その1市3町を結ぶ情報通信のインフラとして、より良いものを提供していかなければならないという使命があると思っています。ケーブルテレビを立ち上げた際、市議会の生中継をしたいということで、平成元年にこの界隈の株主様にご協力頂いて会社ができ、平成12年に開局したわけですが、未だ地域の方のお役に立っていないという自責の念にかられるところです。</p> <p>また、「合併」ということも一つの方法だとは思いますが、1市3町の4人の首長が、どのような形で連携しているのかをよく存じ上げないのですが、一つの行政区分ではなく一体として考えた構想をこの中に反映した方が良いのではないかと思います。</p> <p>また、駅南の商業施設があったところがありますが、例えば、こういったところを子育ての出来るような施設、住居、保育所・託児所や病院等々、子どもを育てられる非常に良い地域だと思われる核となる場所にして、駅と一体となって北口と南口を一緒にしたようなものを作って、若い人を呼ぶ。動物でも子育てしやすいところに移動するようですが、いろいろな施設が一つに集まっていれば、ま</p>

	<p>た違ったのではないかと思います。</p> <p>そういう反省を踏まえ、例えば北口ですが、本庄駅と新しくできた商業施設の間の空き家を市が買い取って、広いエリアとして開発して、子育ての関連施設を一つ作る。このようにして、本庄・児玉郡市の子育てしやすい地域をつくってみてはどうかと思います。</p>
企画財政部長	<p>1市3町の連携は、定住自立圏で本庄市が中心市となって1市3町で圏域を組み、いろいろなことに取り組んでいるところです。その中の取組として、福祉、医療、観光、交通関係などの検討を行っております。交通に恵まれた地域だということもありますので、そういった魅力を圏域内だけでなく発信していくため、熊谷市や深谷市などとも連携し、埼玉県北部7市町での取組も行っております。そういった内容についても、今回のこの総合戦略の中で、一部盛り込んだ形で進めている状況でございます。</p>
都市整備部長	<p>中心市街地の活性化については、今年度から、まずは本庄駅北口周辺も含め、どういう形で整備を進めていけば良いかという基本計画を定め始めております。その中で、子育ての話もありますが、例えば空き家の問題、狭あい道路の問題など、そこに住んでいる方の元気を取り戻すような施策等を総合的に考えているところです。また、12月からワークショップで地元の方の意見を聞いています。そういったところで、今年度から来年度にかけて、何らかの策を打ち出して参りたいと思っておりますので、ご理解頂ければと思います。</p>
委員	<p>人口減少に歯止めをかけることが重要ということですが、住まいを決めるにあたっては、市の知名度が重要だと思います。「あついぞ熊谷」の熊谷市や大型商業施設がある三郷市などと比べると、本庄市は知名度が弱いと考えています。本庄市は新幹線もあり、インターチェンジもあり、非常にアクセスの面では有効な武器を持っているので、ここを活かすのが良いと考えています。今ですと、インターチェンジ降りたところに農業用地が広がっていて、かなりもったいないと感じています。</p> <p>前回の議事録にも出ていましたが、そういった用地を、本庄市といえと言えらるような大きな商業施設などを設けて本庄市を有名にすることで、例えば都内に住まわれている方で新幹線通勤でどこに住もうかといった時に、本庄市が目にとまることで、人口増加にもつなげることができるのではないかと考えております。利用者が増加すれば、本庄早稲田駅に停車する新幹線も増えるということになってくるのではないかと思います。</p>
企画財政部長	<p>本庄市は知名度が弱い部分があるのではというご指摘を頂きま</p>

	<p>した。熊谷市や、最近ですと深谷市が渋沢栄一の関係でかなり表に出ていますので、本庄市は負けているのではないかとこともあると思います。ただ、本庄市も結構頑張っておりまして、昨年、NACK5（ラジオ）で「本庄」のイントネーションに関するCMを流さしてもらいました。すると、「あ、あの本庄ですよ」というように、都内でも本庄市の名前が聞こえるようになるなど、市もできる限りの努力をしております。また、国の施策ですが、移住・定住支援を行っているセンターが都内にあり、そこでも本庄市は移住・定住に向けてのパンフレット等の配布を行っています。さらに、ハウスメーカーにもいろいろとご協力を頂き、また、金融機関でも「住まいる応援金」などご協力を頂いています。はにぼんにも頑張ってもらい、少しずつではありますが、本庄市を全国に広げていく取組を行っています。</p> <p>ただ、ご指摘の通り、まだまだ不足しているというご意見もありますので、引き続き行政の方もしっかり取り組んでいきたいと思いますが、各企業さんや関係者の方々にも、本庄市を表に出す形でPRにお力を貸して頂けるとありがたいと思います。</p>
委員	<p>この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、上里町、美里町、神川町など近隣町との擦り合わせを行っているのでしょうか。また、時代の流れとして「SDGs（持続可能な開発目標）」が非常に重要になっていますが、5ページに「全国市区サステイナブル度・SDGs 先進度調査」で全国1位になりましたと記載があります。これをもっとアピールしても良いのではないかと思います。人口規模別でなくても、全体で1位になるくらいの野心的な構想を持って良いのではないかと思います。国の総合戦略でも地方創生SDGs という文言がありますので、SDGsをもっと前面に打ち出しても良いのではないかと思います。</p>
企画財政部長	<p>近隣3町とは定住自立圏も組んでおりますので、この総合戦略や人口ビジョンを作成した際には、3町とも一緒になって擦り合わせを行いました。今回は改訂版でございますので総合戦略だけとなりますが、一部、事務レベルでの擦り合わせや協議等を行っています。</p> <p>SDGs に関しましては、今回初めてSDGs のアイコンを入れさせて頂きました。もっと力を入れても良いのではないかとご意見を頂きましたので、次年度からはSDGs の研修会等に職員も参加するなどしながら進めていきたいと思っております。ただ、SDGs だからといって、特別に何かするというものではないと考えております。普段から行っていることがSDGs につながるということを</p>

	認識しながら行っていけば良いのではないかと考えておりますので、また様々な面でご指導・ご協力をお願いできればと思います。
委員	私は上里町でも委員をしており、このような会議に出席するのですが、上里町もこのSDGsをかなり前面に押し出しています。美里町では、資金調達などで新しい手法のものを出そうとしていますので、連携や情報共有をしてもらったら良いのではないかと思います。
座長	民間企業でもSDGsの取り組みが広がっています。SDGs先進度調査で1位であることのPRをもっとした方が良いというご意見は、その通りであると思います。
委員	パブリックコメントで「障害者に対する就業支援事業を実施すべきと考えます」というご意見が出されているのを見て、改めて総合戦略を見直してみますと、障害者という言葉がなかったように思います。市として推進協議会や自立支援協議会など様々な施策を行っているわけですから、具体的にどういったことを行っているか示した方が良いのではないかと思います。このままですと、パブリックコメントの回答内容が、障害者のことを忘れていないかと不安に思うような内容であると感じました。
企画財政部長	ご指摘頂いた通り、この総合戦略に障害者の文言の記載がないことは事実です。まち・ひと・しごと創生、地方創生ということで、人口減少を何とか食い止めようという中で、障害者の方々も一緒になって進めていかなければならないということをご指摘の通りだと思います。 ただ、決して言葉がないからといって、そういった取組がないというわけではないということをご理解頂きたいと思います。ご指摘も踏まえ、今後、総合戦略の中で施策の実施について進めていきたいと考えております。
福祉部長	障害者の雇用・就労促進については、個別計画「本庄市障害者計画」で、様々な取組、例えば、郡市で行っている障害者就労支援センターや就労継続支援の充実等を取組として挙げ、取り組んでいるところでございます。
座長	おそらく委員のご意見は、資料1の右側「提出された意見に対する市の考え方(案)」に、取り組んでいる内容をもう少し入れた方が良いのではないかとということだと思います。
委員	行政から見ればこの答えで十分分かるのですが、一般の方が見た場合、市は何をやっているのかということが分かりづらいと思うので、具体的に就労支援を行っている内容を盛り込んで頂くとより分かりやすいのではないかと思います。

企画財政部長	ご意見を頂きましたので、記述を追加していく方向で検討させていただきます。
委員	<p>本庄市の農業に関しては、かなり恵まれた環境にあると考えております。恵まれているにも関わらず、我々が想像している以上に、高齢化の波が進んでいます。そのような中で、市として農業の振興に関してどのような手を打っているのか質問させていただきます。</p> <p>また、本市の恵まれている状況をもう少しアピールする必要があるのではないかと感じております。特に、他の地域から遊びに来て、農業体験ができるような施設、泊まれるような施設を作っていくべきではないかと感じております。我々も含めてですが、農業に関するPRが苦手で、発信することがなかなかできていないという状況だと思います。ですから、何らかの施策を市と一緒に打っていただくと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p>
経済環境部長	<p>農業に関して市が取り組んでいる事業として、国や県の各種補助事業を活用し、農業を営んでいる方に活用して頂いているのと併せ、有機100倍運動協議会というものを設け、その中でエコ農業の研究部会と販路拡大研究部会を設置し、農業者の方のご意見を頂きながら、PR等の事業を進めているところです。まち・ひと・しごと創生総合戦略とは別に、総合振興計画の中で、本庄産の農産物は安全で安心なものであるというPRをし、最終的にはブランド化を図っていきたいということを掲げております。それに向かって、現在、取り組んでいるところでございます。</p> <p>また、農業体験ができる施設等の整備ということですが、これについては早急を実施するという事は難しい状況です。当然、農家の方にご意見を頂きながらやっていかなければなりませんので、これについては今後の検討課題であると考えております。今後も、引き続き、農協さんにはご協力を頂きながら、一緒にPRができるような取組を進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
委員	<p>SDGsの4番に「質の高い教育をみんなに」というものがあるのですが、初等教育、中等教育、高等教育において質の高い教育という面では本庄市もいろいろとやっていると思うのですが、前回も言いましたが、その下の幼児教育については、この総合戦略に一切書いてありません。質の高い教育ということで、まず、それを実行するためには、幼稚園教諭、保育士の質を上げることが大事だと思います。そのためには、先生たちを学生のうちから本庄市の方に引き込んでいく、良い先生を入れる、育てることが必要です。そのため、研修、セミナー、講習会、就職説明会というものを本庄</p>



	<p>市が主催で行ってもらえたら、先生たちの質も上がると思います。</p> <p>先生たちの質を上げるということは、子どもたちの非認知能力を育てていくことにつながります。非認知能力とは、学習面の数値では測れない能力、コミュニケーション能力や我慢強さ、根気強さ、協調性などです。これを幼児教育で幼児のうちから育てていくということで、アメリカでは、非認知能力が高い子どもの社会的貢献度、将来に社会人になった時の経済的効果を数値で表す研究もされています。それほど注目されている幼児教育ですが、そういったところに目を向けて力を入れていくことで、本庄市が学力の面でも、スポーツの面でもすごいと思われるようなところで注目されていけたら良いのではないかと思います。その第一歩として、先生たちの質の向上にもお金もかかるので、手助けして頂けたら、本庄市の幼児教育も、もっと良くなっていくのではないかと思います。</p>
教育委員会事務局長	<p>幼児教育に関して、幼稚園の先生方と保育士さんの質の向上を手助けしてほしいとのことですが、まずどのような形で研修を含めて取り組んでいくか、周辺のいろいろな事例も参考にしながら検討していきたいと考えております。</p>
委員	<p>この総合戦略案を見て、とても素晴らしい戦略案ができたと思いました。あとは、いかに市の職員が実行力を持ってこの総合戦略に取り組んでいくか、その本気度が大切になってくると思います。これから実行に向け、市の職員一人ひとりに向けた研修などが大切になってくると思います。市の職員一人ひとりが、人口減少を食い止めるための取組について意欲をもって実行していくかが重要であると思います。国から言われた事業だからやるというのではなく、自分の問題として取り組めるような市役所内での研修等が必要だと思います。</p> <p>いろいろな事業がある中で感じたことは、選択と集中で、どの事業がどれだけ効果があるか、この中で実際に人口減少を食い止めるために何が効果的かを選択して、本庄市として何に集中的に取り組むか見極めることも大切だと思います。本庄市のどこに魅力を持たせていくか選択し、しっかり取り組んで頂けたらと思います。</p> <p>また、前回も申し上げましたが、産婦人科が不足している現状があると思いますので、是非宜しくをお願いします。</p>
総務部長	<p>職員の研修について、まずはこの総合戦略を十分職員へ周知して、内容を理解させることが重要であると思います。その上で、様々なスキルアップのための研修をしておりますが、職員が自ら考えながら理解をし、実施できるような職員を育てるための研修を進めて参りたいと考えております。</p>

企画財政部長	<p>選択と集中をもって効果を出していくためにも、しっかりと評価をし、PDCAサイクルを回していくことが大切だと思います。職員への周知を徹底するとともに、年に一回は評価をして、懇談会でもいろいろなご意見を頂く場を年に一回程度設けていく予定です。そういったところでしっかりと結果をお示しし、ご意見を頂戴する場を作っていけたらと考えていますので、引き続きご指導頂ければと思います。</p>
保健部長	<p>産婦人科の件ですが、安心して出産できる環境を市内に増やしていくということは、とても大切なことだと思います。ただ、産婦人科医は全国的にも少なく、なかなか確保が難しいのが現状です。国や県が医師の確保ということで動いておりますので、そちらでの検討結果を待つとともに、市としては、今あるところをなくさず維持していけるか、そして増やしてけるかということの研究して参りたいと思います。</p>
委員	<p>私たちのNPOでも、幼稚園や保育園の先生にも参加してもらえるような講演会や勉強会を行っております。各園にもチラシを配布していますので、是非先生方にも参加して頂きたいと思います。来年度は市民大学の公開講座として、発達障害の専門医の先生に来て頂くことになりました。私が受けた講義の内容がとても良く、発達障害をもつ子どもたちに、どう対応したら良いかという具体的な話を聞くことができたので、本庄市の生涯学習課と共同でお呼びすることになりました。こういう機会にも是非参加してもらえたらと思います。</p> <p>また、先日、民生委員として参加した県の研修で聞いた養護施設出身の若者の話がとても良かったです。養護施設にはよく見学に行くのですが、守秘義務があり、生徒たちと交わることはほとんどありません。養護施設出身の子どもたちが、どうして自分たちが養護施設に行くことになったのか、養護施設出身の自分が今どのように働いているのかという切実な話が聞けて、これは子育て中のお母さんや関係者の方にも聞いてほしいと思いました。どの時期に開催するは検討中ですが、是非たくさんの人に聞いて頂ける場所で開催したいと思っています。市民レベルでも本当に良いと思う活動をやっている団体もあると思うので、是非、官民共同、一緒になって研修をやっていければ良いと思います。</p> <p>あと、8ページにあるように、本庄市の全体目標の課題は、あくまでも人口減少の抑制、出生率の改善、若い世代の転入促進になっています。それを踏まえて7ページのワークショップでの各アイデアを見ると、例えば、農産物のブランド化については、若者の力で</p>

ブランド化するということはすごく意味があることだと思いますし、空き家を活用したシェアオフィスは若者にはとても魅力的だと思います。若者に魅力的な企業の誘致ということは、もちろんそれがあれば若者が入ってくるでしょうし、ここに書かれていることを実施していけば若者は帰ってくると思います。

もちろん若者が来ただけでは少子化に歯止めがかかりませんので、結婚して子どもを産んでもらう必要があります。15ページ(6)にSAITAMA出会いサポートセンター推進事業があります。これはとても良いことだと思います、実際にどのくらいの方が結婚しているのか調べてみたところ、とても少ない状況でした。また、埼玉県でも数市しか実施していないことから、本庄市外の方の利用がとても多いようです。今までの婚活事業についても、本庄市民が利用している割合はとても少なく、市外の方が多く利用しているという状況です。その辺りをきちんと踏まえ、事業を行っているから良いということではなく、そういった面からの検証も必要だと思いました。

7ページの市民ワークショップでの各アイデアに出ていることが、実際に子育てするにあたって、これがないと出来ないという切実なものだと思います。先ほどの幼児教育に関することもとても大切ですが、幼児教育や保育の充実がない限り、子育て世代は本庄市に来ないと思います。そのような中、17ページに新しい施策として「保育所・幼稚園等副食費第3子無償化」がありますが、とても素晴らしい事業だと思います。これは、今すごくネックになっている問題です。国の施策である幼児教育・保育の無償化に伴い副食費を負担することになってしまい、逆転現象になっている状況をいち早く解消したことはとても意義のあることだと思います。こうして、国のおかしい施策をすぐに市町村レベルが直していくということは、とても素晴らしいことだと思います。

また、発達障害についての記載がとても少ないと思います。18ページに発達障害についての記述が少しありますが、現在、小学校に約3割の発達障害予備軍的なお子さんがいると言われていています。不登校がとても増えているのは、発達障害に由来しているケースが多いと思います。親の発達障害があると、子育てに不安があるので、子どもが学校に行けなくなり、学力も落ち、高校にも行けない等のいろいろな問題が出てくると思います。このため、発達障害についてももう少し本気で入れた方が良いと思います。本庄市の回答はいつも「発達教育支援センター『すきっぷ』がありますから」と言うのですが、すきっぷはあくまでも機関であって療育施設ではないの

	<p>で、きちんとした療育施設を持つべきだと思います。すきっぷがあるという回答ではなく、さらに踏み込んで考えますというような記述が欲しいと思います。</p> <p>それと、本庄市が子育てしにくいとお母さんたちが思う一番の理由は、小児医療が充実していないことです。それは行政も十分分かっていると思います。小児医療の充実なくして、少子化問題は解決できないと思います。簡単に解決できないことは分かっていますが、19ページに救急医療体制の整備に向けた検討というものが検討事業として入っています。もちろん検討ですから、簡単にできるとは思っていませんが、検討というだけで評価の声が出たということが、とても重要だと思います。それに対し、18ページ(15)休日・夜間診療の充実に関しては、救急医療対策事業が既存事業のままになっています。前回も申し上げましたが、平日の夜間診療が49日しか実施されていません。ここはせめて拡充事業とか検討事業にして、できるかどうか分からないけれども、検討はするということにして頂きたいと思います。お母さんたちに聞くと、一番困っているのは小児医療だとおっしゃっています。</p> <p>同じく7ページの市民ワークショップでのアイデアで、ボランティアが協力しやすい仕組みづくりというのがあります。中にも記述が少しあります。記述だけではなく、行政ができないことでも民間レベルで協力できることはいくらかもあると思うので、そこをもっとうまく繋いでもらえれば、行政だけで背負い込まなくても良いことがたくさんあると思います。逆に、ボランティアをしたい人もたくさんいると思うので、もっとボランティアの力を活用したら良いと思います。</p> <p>それと、障害のある方についての明記がないということはありませんと思うので、早急に直して頂きたいです。SDGsを謳うのであれば、障害のある方の記述をすべきだと思うので、すぐにでも付け加えた方が良いでしょう。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>行政だけでなく、市民レベルで行っていることもあるから、一緒になってやりましょうというご意見を頂きました。そういったご意見を頂くことはありがたいことだと思います。確かに、人口減少に対しては行政だけでは解決できる問題ではなく、市民の皆様のご協力があった話だと思います。是非とも、引き続きご協力願えればと思います。</p> <p>また、出会いサポートセンターが本庄市内にあるが、市外の方の利用が多いのではないかとということでしたが、確かにそういう傾向はあるかと思っています。ただ、これは埼玉県全域で扱っているもので、</p>

	<p>いろいろなところの方が登録して頂き、出会った方が将来的に本庄市に住んで頂ければ良いのかなと思っております。そういった中で、社会福祉協議会が本庄センターをつくりました。埼玉県内には三つしかセンターがないのですが、そのうちの一つが本庄市内にあるということがまず大切なのかなと思います。今後は市内の方にもさらに活用して頂けるようなPRを進めていきたいと考えております。</p> <p>それから、最後のご意見の障害者に関する記述に関してですが、この場ですぐにどの箇所に記述をするとは約束できませんが、本例会議で検討させて頂きたいと思っております。</p>
保健部長	<p>発達障害については、確かに「すきっぷがあるから」というような話が出ることも多いかもしれません。すきっぷはある意味で一つの過程で、本庄市に何もなかったところから、健診等のスクリーニングの取組、その後の経過観察やフォローの取組、その積み上げの中ですきっぷができてきました。確かに、療育施設とは全く別物です。療育施設をどうしていくかは、急がなければならない大事な課題であると思っております。それに向けて是非ご協力を頂きまして、どのような方向でやっていけるのか考えて参りたいと思っております。</p> <p>また、小児医療について、休日・夜間診療の充実ということでご意見を頂きました。実際にどのように拡充していくのか、医師会の先生へもご相談しているところですが、すぐに良い解決案はなく、残念ながら現状維持として既存事業になっているのが現状です。本日頂いたご意見を、どういった形で反映できるのか検討させて頂きたいと思っております。</p>
委員	<p>先ほどSDGsの話が出ましたが、人口5万人以上10万人未満の市の中で、全国1位という非常に良い評価を頂いたことは嬉しいことです。本庄市は昔からまじめに地域づくりに取り組んできたのですが、何故、それがあまり認知されないのか疑問に思っています。その理由の一つは、平均的な施策はやっているが、尖った政策がないことだと思います。こうしたものが出てくると、また認知度が上がるのではないかと思います。千葉県流山市では、「子育てについては流山」、「ママになるなら流山」、「パパになるなら流山」など、それを聞いただけで、ここは子育てに力を入れているということがキャッチコピーとして分かるような取組をしています。そのような派手なものを入れた方が良いのではないかと考えておりました。</p> <p>また、いつも思うことは、国の政策でも、国はとても矛盾したことをたくさんしているということです。例えば、幼児教育・保育です。私は、幼稚園、保育園と言っている時代はとっくに終わってい</p>

ると考えています。厚労省と文科省が縄張り争いのようなことをしていますが、子育てなら子育て省みたいなものをつくって、この少子化に本気で取り組む必要があるのではないかと考えています。幼稚園でも保育園でもなく、今でも幼保一元化とは言っていますが、基本的には分かれています。同じ建物の中でも幼稚園、保育園と基本的には分かれているところがあります。市レベルでは何ともならないかもしれませんが、そういったことをやっても良いのではないかと思います。本庄市では公立の保育園はありますが公立の幼稚園はなく、幼児教育に対する公共的な関りが薄いと思います。教育委員会は小・中学校が主となっていて、幼児教育についての教育委員会の関りは非常に低いです。保育園は公立が多いので福祉施策としてやっていますが、もう子育てに関しては、福祉と教育とに分けなくてやってもらいたいというのが正直なところです。本気でやるのであれば、子どもに関しては全体としてやりましょうというような形を模索して頂けたらと思います。

それから、障害者の雇用については就労支援センターなどを郡市でやっていますとのことでした。救急医療も広域で行っており、障害者の就労支援も郡市の中で行っているのだから、女性に特化した就労支援は文言として出ているにも関わらず、障害者の雇用について記載がないことに少し違和感を感じました。就労支援は、もっと幅広く、女性も障害者も高齢者もみんな応援しますというのが、今の大きな流れだと思うので、広い視野に立ってやって頂きたいと思います。そこに、いろいろな人の就労支援を入れて頂きたいと思います。

あと、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、東京圏への転入超過について出ていますが、これが諸悪の根源です。何故かというと、東京は若い人をたくさん集めますが、出生率が一番低い。若い人口を飲み込んで、人口の再生産が一番しないのは東京です。そこに人を集めてどうするのかということは、国もその問題点は分かっている、今日の新聞でも、安倍首相も東京圏の転入超過は諦めているとありました。国がそのようなことを言ってどうするのかと思いますが、それで地方に頑張れ頑張れと言っても、東京にどんどん人が集まってしまいます。こんなに地方が頑張ろうと思っているのに、東京が強大な力で人を集めてどうするのかと考えております。

こういったことを市に言っても仕方ありませんが、地方の声として、このような構造を変えてもらいたいということを、国に対して求めたいです。

教育委員会事務局長	<p>最初のご意見の子育てについてですが、確かに幼稚園は教育委員会、保育所は保健部と分かれていることはご指摘の通りです。これをまとめて一つにして、今後子育てを一緒にしていくかというお話だと思いますが、いろいろと課題がありますので、研究していかなければならないと思っています。</p>
企画財政部長	<p>就労支援のところで、障害者等の記述ができないかというご意見ですが、まち・ひと・しごと創生総合戦略については、人口減少についてどのように取り組んでいくかということに焦点を合わせたものがピックアップされているものでございます。ただ、地方創生を行う中で、そういった考え方についても、当然、然るべき話ですので、障害者の方の就労に関する記述については、本部会議の方で検討させて頂きたいと思っております。どのような形で記述ができるかについても併せて検討させて頂きたいと思っております。</p> <p>また、東京一極集中についてはおっしゃる通りで、全国の自治体を感じていることだと思います。ただ、各自治体も東京に負けるなという気持ちは持っており、そのような気持ちでこの総合戦略を作っています。東京の方でも、国レベルで考えていけないものも当然あると思っておりますので、市議会などにもご協力を頂きながら、こういった部分についてお願いをしていきたいと考えております。</p>
委員	<p>我々は市民グループで15年くらいいろいろな活動をしてきました。先ほど、副市長からご紹介頂いた「陸船車」ですが、今から280年くらい前に本庄の庄田門弥が発明した4輪自転車です。それも一つですが、この総合戦略の中に出ている「まち」や「魅力創造」に関連した活動を、本庄まちNETではいろいろとやっております。</p> <p>例えば、空き家対策や文化財の活用に関連して、蔵の保存・活用、昭和初期の民家の改修等を市民レベルで行っています。本庄宮本・蔵の街も保存・活用していますが、実際に蔵の保存・活用ができてくると、本庄市以外の方もたくさん来るようになります。文化財的なものでない民家や蔵でも、活用できれば市街地の魅力化につながります。外部から人が来たり、メディアも取り上げてくれるので、そういったものが活用できることなど、この総合戦略の中にもいろいろと書かれていますので、是非実行して頂ければ良いと思えました。</p> <p>また、本庄まちNETは30人くらいの会なのですが、市民だけでなく、市外の方もいます。いろいろなアンケートや会議などで、お話を伺う機会があります。実際私も18歳まで本庄市にいて、そ</p>

	<p>の後東京に行き、結婚して子供も生まれ、40歳過ぎに本庄に帰ってきたら、本庄市はガラッと変わっていました。外から20年くらい、生まれた本庄市を眺めていましたが、本庄はある一つの場所ではありません。東京や世界中から見ていると比較の対象の一つです。本庄市に住んでいる方や働いている方が本庄とはこういうところなんだと理解するのと同時に、外部の評価をどのように捉えるのかということはとても大事だと思います。隣接している町の方の意見も聞く機会がありますが、やはりそれは本庄市の中の方とは違う見方があるので、そういった見方も必要だと思います。ずっと本庄市はインフラが良いと長年言われています。何故それを活かさきれないのかということも、きちんと整理する必要があるのではないかと思います。せっかく新しい総合戦略ができて、行政・市民含めて推進していくためにも、やはりきちんと見直す必要があると思います。全体的には非常に素晴らしい戦略だと思いますので、是非これを行政・市民一緒になって出来れば良いと思いました。</p>
企画財政部長	<p>外部からの評価も重要であるというのは、まさにその通りだと思います。今回の総合戦略で、基本戦略「誰もが知っていて、訪れたいくなる、住み続けたいくなるまち」の数値目標のところ、初めて外部の客観的なランキングの指標を取り入れました。12ページの数値目標で、住みよさランキング埼玉県内で2019年には4位でしたが、これを2022年には1位になるようにということで、こういった外部の評価も取り入れて行っています。近隣市町の意見や評価も何らかの形で取り入れられるようなことも、考えながら進めて参りたいと思います。</p> <p>また、他の自治体から見て、非常に良い交通の要衝になっているのに活かし切れていないというご指摘は、行政に携わっている我々としては厳しいご指摘だと思います。なぜ、まだこの状態なのかということを見ると、もう少し踏み込んだ整理の仕方もあると思いますの、研究して参りたいと思います。</p>
委員	<p>私は自治会長をやっており、自治会内にも若い人が入ってきております。昨年12月から1月に、若い世代の40歳前後の方が10組入りました。聞くと、本庄市は交通の便は良いけど、街の整備も出来てないし、区画整理も出来ていないと言われました。ではどうして本庄を選んだのか聞くと、私は東京に通っているからとのことでした。私の住んでいるところは半分が区画整理で新しくなって、後半分は古いままで、新しいところにはどんどん人が入ってきています。事務所を用意して東京の業者を呼んできたり、児玉工業団地で空いている会社を買い取ってやれば、発展するのではないかと</p>



	<p>という意見もありました。また、子どもたちは2～3歳位で、これから保育園だそうです。私の地域には中央小学校、南中学校、本庄高校が近くにありますが、保育園はありませんが、こういうところに住みたかったので来ましたという意見も聞きました。東京生まれ、東京育ちで会社がこちらにあるので、とか、本庄市は野菜がおいしいからという意見もありました。農業の方もうまくPRしていけば良くなっていくのではないかと思います。</p> <p>私は、この総合戦略を読んで素晴らしいと思っていますが、実際に実施することは難しいものもあると思います。国道17号線バイパスを新しくつくると言っていた時に、ある方が「私が生きている間は出来ない」と言っていました。その理由を聞くと「昔の人が反対しているから出来ないんだよ」と言っていました。それは私が35～36歳ごろの話で、今73歳になります。あと何年続くか分かりませんが、まだバイパスができません。交通の便が良いのにどうして発展しないのか不思議で仕方がないと思っています。市の方も予算もあるし、いろいろ大変だと思いますが、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>少し気になったのが資料3の長期ビジョンで、東京一極集中の是正に向けた取組というものを具体的に出していますが、これは20年も30年も前から分かっていることで、これまでも思うようにいなくて、雲を掴むような話ではないかと思っています。</p> <p>それと、同じく資料3の1ページに人口減少になってから出生率が減るとどうなるかということが書かれています。先日「地方消滅」という本を読みました。例えば出生率が現在の1.2を1.4に伸ばし、それで子どもの数が増えたとみるのも一つですが、実際20歳から39歳までの子どもを産む女性たちが現在100人いたとすれば、5年後10年後には、人口減少ですので当然その数も減るはずで、50%減少したとして、100人いた女性が50人になったとすれば、出生率が1.4になっても、計算上、実際の子どもの数は減っているわけです。出生率を2.01にしても100人に届かないなど、いろいろな計算があります。ということは、20歳から39歳の若年女性の数を増やすために、我々が何をしなければいけないのか。ここで働く場所を確保する。あるいは本庄市がベッドタウンとして若い人たちの住む場所を確保する。あるいは、本庄市に大きな企業を誘致して働き場所を確保する。そういうものがない限り、本庄市に住む若い人は増えないと思います。その辺を我々はもっとリアルに考えていかなければならないと、この本を読んで思いました。</p>

	<p>また、前にも申し上げましたが、子どもの学力向上について一切書かれていないので、どこかに入れて頂きたいと思います。実際、子どもたちの学力を向上させていけば、悪い言い方をすると、良い高校に行つて、良い大学に行つて、良い就職をするだろうと考える保護者たちが本庄市に住むということも考えられます。さいたま市でも、浦和高校に入らせるために、私立に入れるのではなく、公立の小中学校から浦和高校に入れて、良い大学に入れて、良い就職へと考える保護者たちが、いろいろなところから浦和に住み始めています。教育に関しても、この中に盛り込んでいかないと、そこに住もうということにはならないと思いますので、是非その辺も考えて頂けたらと思います。</p>
教育委員会事務局	<p>学力向上については、ご指摘の通りこちらには記載がありません。しかし、学力向上については、計画的に取り組んで実施しているという状況はあります。総合戦略への記載については、ご意見として承りたいと思います。</p>
座長	<p>ほぼ予定された時間となりました。今回頂いたご意見を反映するものは反映して、そうでないものも個々の施策において検討して頂きたいと思います。特に、今日3人の委員の方から出た、障害者についての文言がどこにも出ていないので、SDGsの観点からも記載ができないのかというご意見がありました。これから本部会議の方で是非ご検討頂きたいと思います。</p> <p>もう一点は、18ページ(15)休日・夜間診療の充実で、救急医療対策事業が既存事業になっていることについて、これをもう少し検討してもらえないかというご意見がありましたので、これも本部会議の方で検討をお願いします。</p>
5. 閉会	
事務局	<p>以上をもちまして、本日の議事はすべて終了致しました。長時間にわたり活発なご意見を頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>なお、今後のスケジュールでございますが、最終的に完成した総合戦略につきましては、まず委員の皆様へ配布させていただきます。その後4月に公表することを予定しております。また、今年度の懇談会は今回で最後となります。ご協力頂きまして、本当にありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第3回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会を閉会します。ありがとうございました。</p>